

【本賞】	
蓄電池用 角形電池ケース成形専用機DPH	アイダエンジニアリング
3次元レーザ統合システム 「ALCIS-1008e」	アマダ
高い生産性を最高レベルの面積生産性で 実現する小型複合加工機 MULTUS U1000/U2000	オークマ
CNC自動旋盤 BNE-65ATC	シチズンマシナリー
搬送ロボット「AiTran500」	ダイヘン
レベル4対応自動運転トローイングトラクター	豊田自動織機
画像解析システム搭載形 鋳抜き素材対応 スクリューロータ加工機 NSMシリーズ	ニイガタマシンテクノ
高生産性・省エネルギーを実現する 電動射出成形機 FANUC ROBOSHOT SCシリーズ	ファナック
FA統合コントローラ MELSEC MXコントローラ	三菱電機
自律人協働ロボット MOTOMAN NEXT - NHC12	安川電機
【日本力（にっぽんぶらんど）賞】	
水素混焼ガスエンジン KG-18-T.HM	川崎重工業
インライン水分率モニター「MMSシリーズ」	島津製作所
水圧駆動ロボット用コントロールバルブ	NACOL
【モノづくり賞】	
ターンロック式オール樹脂管継手 KY Series	SMC
門型5面マシニングセンタ HF-MIIシリーズ	新日本工機
アクティブトラッキング機能搭載 溶接ロボットシステム	スギノマシン
【日刊工業新聞創刊110周年特別賞】	
超精密ワイヤ放電加工機「EXC100L+」	ソディック

第68回

2025年

十大新製品賞

上

日刊工業新聞社が選定する「2025年（第68回）十大新製品賞」の受賞製品が決まった。同賞は応募企業がその年に開発または実用化した新製品の中から、モノづくり産業の発展や日本の国際競争力強化に貢献する製品を十数点選び、表彰する制度。今回は41社・43件の応募があり、「十大新製品賞本賞」10件のほか、「日本力（にっぽんぶらんど）賞」3件、「モノづくり賞」3件、「日刊工業新聞創刊110周年特別賞」1件を選定した。贈賞式は27日11時から東京・大手町の経団連会館で開く。

モノづくり発展に貢献

あす贈賞式

十大新製品賞は日刊工業新聞社が1958年に創設。各製品は独創性、性能の秀逸性、産業水準向上への貢献性、産業・社会発展の先導性などの観点で審査される。今回は17の製品が、十大新製品賞本賞をはじめとする各賞に輝いた。いずれもが産業技術を通じて社会の発展に貢献する製品として、今後の活躍が期待されている。

【本賞】

アイダエンジニアリングの「蓄電池用 角形電池ケース成形専用機DPH」は、アルミニウム素材の加工対象物（ワーク）の端部を圧縮することで絞りを工しやすくする「アシスト絞り」工法を採用。ケースを1ストロークで横向きに成形できる。全体の加工工程数を半分以下に削減可能で、従来のプレス成形と比べ成形荷重が10分の1で済む。

【本賞】

オークマの「高い生産性を最高レベルの面積生産性で実現する小型複合加工機 MUL」は、工場や物流倉庫での自動搬送に最適な自律移動ロボット（AMR）。部品点数を半減したこと

【本賞】

ダイヘンの「搬送ロボット「AiTran500」」は、工場や物流倉庫での自動搬送に最適な自律移動ロボット（AMR）。部品

「レーザトラクター」は、空港内での手荷物や貨物の搬送を自動化する貨物けん引車。昨年12月に特定条件下で完全自動運転を行う「レベル4」を実現し、国内の空港で実導入を始めた。高性能センサ「LiDAR」や全球測位衛星システム（GNSS）などを組み合わせ、高精度な自己位置推定を可能とした。

【本賞】

ニイガタマシンテクノの「画像解析システム搭載形 鋳抜き素材対応 スクリューロータ加工機 NSMシリーズ」は、スクリーローターのらせん形状加工において、加工機のカッター部分とワークの加工開始位置の調整を容易にし、準備にかかる時間を大幅に短縮する。独自開発の画像解析システムにより、ワーク形状を非接触で計測、加工開始地点を自動算出できるようにした。

【本賞】

ファナックの「高生産性・省エネルギーを実現する電動射出成形機 FANUC ROBOSHOT SCシリーズ」は、高い成形性能、高い稼働率、使いやすいの三つを追求。ダイプレートを支えるタイバーの間隔と型開閉ストロークを拡張し、従来機より大きな型を搭載できる。また型開閉動作の高速化により、生産性向上にも寄与する。

【本賞】

シチズンマシナリー

【本賞】

ベル4対応自動運転ト

（㊦は27日付3面に掲載）